

まちづくり交付金 事後評価シート
東郷西部地区

平成21年12月

愛知県東郷町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	東郷町(とうごうちょう)	地区名	東郷西部地区(とうごうせいぶちく)			面積	121.2ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	763百万円	国費率	0.41		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業のうち白土・涼松地区計画道路(白土58号線(その1)(その2)、白土64号線、白土66号線(その1)(その2)、白土29号線、白土63号線(その1)(その2)(その3)、音貝9号線、涼松17号線、藤坂・涼松2号線、涼松9号線)、公園事業のうち都市計画公園(白土第1公園、白土第2公園)						
		提案事業	地域創造支援事業のうち区画整理調整池負担事業(東郷涼松土地区画整理組合)、児童館建設事業(兵庫児童館)、まちづくり推進事業(公園ワークショップ開催)						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路事業のうち白土・涼松地区計画道路((仮称)白土66号線、(仮称)半ノ木・涼松2号線(その1)(その2)、涼松・半ノ木2号線、(仮称)半ノ木4号線)	削除/追加の理由 事業実施に遅れが生じ、計画期間内の完了が不確定となったため、基幹事業から削除し、関連事業へ移行した。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 整備計画変更の段階では、関連事業による計画期間内での整備完了を目標としていたため、指標値の変更は行わなかった。		
		提案事業	—	—			—		
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業のうち白土・涼松地区計画道路(白土67号線、涼松27号線)公園事業のうち都市計画公園(三ツ池公園)	目標をより良く達成するため。			緑化率の数値目標の変更を行った。		
		提案事業	—	—			—		
交付期間の変更	当初	平成17～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
変更	変更なし	—							

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	新規住宅着工件数	件	4	H15	20	H21	39	○	あり なし	道路整備事業が周辺の宅地開発に対する意欲を高め、効果発現を促した。また、運動して行った低未利用地における小規模区画整理事業もまちの価値を引き上げ周辺の開発意欲を向上させた。	H22年4月	
指標2	居住者数	人	7,706	H16	9,000	H21	9,135	○	あり なし	道路整備により開発意欲を促したことで人口増加につながった。また、新市街地の地区では子育て支援に力を入れたことで、転入者が多くなり人口増加に繋がった。	H22年4月	
指標3	消防活動困難区域の解消	ha	0.9	H16	0.0	H21	0.0	○	あり なし	地区内の消防活動が円滑に行えるようになることで、安心して暮らせるまちづくりを実現できる土台が整う。	H22年4月	
指標4	緑化率	%	56.5	H16	60.5	H21	60.6	○	あり なし	ワークショップにて、地区住民が参加して計画を策定したことで、地域での公園の使用法、維持管理に対する意識の高まりが見られる。	H22年4月	

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	子育て施設の利用者数	人	-	-			49,101				町内の他の児童館に比べても、高い年間利用者数となっており、それだけ児童を含めた親の集まる機会が多く、子育て支援に繋がっている。	H22年4月

4) 定性的な効果発現状況

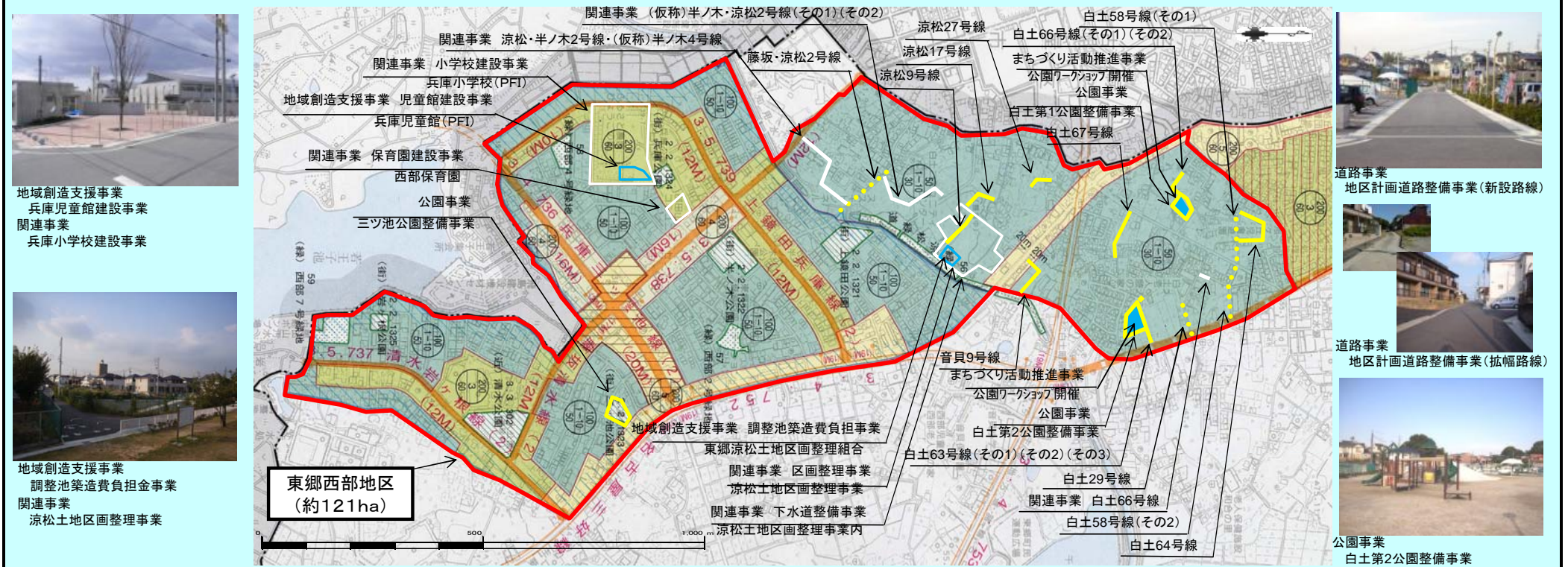
- ・住民主体となった計画づくりであったこともあり、まちづくりや実施事業に対する関心が高く、官民が一体となったまちづくりを実践することができた。
- ・公園利用者が直接計画に参加したことから、非常に評判が良く、地区以外の利用者も多くみられる。
- ・児童館や学校周辺には、いつも親子連れが多くみられ、防犯としても非常に役立っている。また、地区住民が積極的に防犯活動に参加するようになっている。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	—	—
	住民参加プロセス	・公園ワークショップの開催(白土第1公園、白土第2公園、三ツ池公園)	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	今後も公園等築造の際には、地区住民によるワークショップを開催し、住民主体のまちづくりを推進していく。
	持続的なまちづくり体制の構築	—	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	—

様式2-2 地区の概要

東郷西部地区(愛知県東郷町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 誰もが安全で安心して暮らせる住みよい街をつくる。 目標1: 地域再生計画として認定を受けた「子育て支援のまち再生計画」の支援措置を受けて子育て支援のための児童館、小学校、保育園を区画整理施行地内に整備し、かつ子育て支援モデル地域内の白土・涼松地区においては、地区整備計画を策定し、計画的かつ効率的に既成市街地の良好な居住環境を形成するとともに、住民が未永く暮らし続けることができるように利便性、快適性に優れた生活基盤整備を図る。 目標2: 住宅地を中心とした適正な土地利用の誘導により、健全で良好な居住環境を形成するとともに地域の防災性・安全性に重視した住環境の整備を図る。	新規住宅着工件数	単位: 件	4	H15	20	H21	39	H21
	居住者数	単位: 人	7,706	H16	9,000	H21	9,135	H21
	消防活動困難区域の解消	単位: ha	0.9	H16	0.0	H21	0.0	H21
	緑化率	単位: %	56.5	H16	60.5	H21	60.6	H21
	子育て施設の利用者数	単位: 人	-	-			49,101	H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 子育て施設を集約化したことにより、親子同士の集まる機会が増え、児童館を中心に子育てに対する関心が活発化した。 道路等の整備により、住宅開発が増えたことで、人口定着が図れ、地区内のスプロール化を抑制ができてきた。 地区計画道路の主要な新設路線の整備及び地区内都市計画公園が整備されたことにより、地区内の防災上の安全性が高まった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 町内の子育て支援モデル地区から発信地区へと役割を変化させ、町内全域へ子育て支援の輪を広げてゆく活動を推進していく。 地区内に残る狭あい道路を整備し、地区住民の防災性・安全性の向上を図る。 更なる地区計画道路の整備及び下水道整備などの社会資本整備を進め、新市街地との格差を是正し、一体化した市街地の形成を図る。